

辻 彩菜 個展 「佇み、踊るオブジェ」開催のご案内

Ayana Tsuji Woodcut Print exhibition "The object stands still, and then dances"

このたびギャラリーヘプタゴンにて辻彩菜個展「佇み、踊るオブジェ」を開催いたします。

辻彩菜は2023年に京都市立芸術大学にて修士課程を修了し、精力的に活動している注目の若手アーティストです。洗濯物など日常の中にある身近なモチーフを、油性木版画やコラグラフなど用いた表現を模索しています。カラフルでポップな色調を持ち味に、質感の異なる版技法が織り交ぜられた積み上げられた洗濯物の“層”にあらわれる作者のユニークな視点が特長と言えます。本展では新たに、思わず触れたくなるような作品の表情を積み木のようなオブジェとして落とし込んだ試みを発表します。この機会にぜひご高覧ください。

【Artist Statement】

日常的に目にしているモチーフにふと違和感を覚える瞬間があります。「洗濯物」は、一着一着が同じ大きさに畳まれ、積まれ、ひと塊になっているのに、そうすることで個々の衣服の形・素材・色・柄の違いが強調されているところに矛盾と魅力を感じています。

私は、身近に存在するモチーフが、版画制作の「下絵」「製版」「印刷」という工程を介すことで、鑑賞者にとって新鮮なイメージに変容することを期待して制作しています。版画の中でも木版画は、彫り残したところにインクが乗るというわかりやすい仕組みとは裏腹に、彫刻刀の不自由な線や、刷るまで全容がわからない不確かさを持ち、制作者である私自身と作品との間にも距離が生じると感じています。

今回の個展では、「洗濯物」の持つ“層”の魅力に加えて“オブジェ”のような存在感にも着目します。一度新鮮なイメージに変容したモチーフを再度手元にたぐりよせ、主観と客観の行き来を試みます。

【展覧会詳細】

会期 | 2025年10月4日(土)～10月12日(日)

時間 | 12:00～18:00

休廊日 | 10/9(木)

会場 | Gallery Heptagon (ギャラリー・ヘプタゴン)

〒602-8175 京都市上京区下立売智恵光院西入中村町523

TEL: 080-7583-3388 info@heptagonworks.com www.heptagonworks.com



Works



《生活の積み木》
油性木版(積み木にのりで貼り付け)
サイズ可変
2025



《生活の層 窓1》
油性木版、ステンシル
297×210
2025



《生活の層 15》
油性木版、コラグラフ
303×243mm
2025



《生活の層 11》
油性木版、コラグラフ、ステンシル
350×700, 445×700, 425×700mm
2023

Profile

辻 彩菜 | Ayana Tsuji

1998年生まれ

2021年 京都市立芸術大学美術学部美術科版画専攻卒業

2023年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻版画修了

神山財団芸術支援プログラム奨学第8期生

●展示

2019 ・芸大祭2019有志グループ展「ガラガラ」(京都市立芸術大学)

・版画専攻3回生展「INCLOSE PRINTER」(元・崇仁小学校/京都)

2019 ・ 2020 ・ 2021

・「全国大学版画展」(町田市立国際版画美術館/東京・上田市立美術館/長野)

2020 ・ 2021

・京都市立芸術大学・東京藝術大学合同版画展「PORTO DI STAMPA」

(B-gallery/東京・アートゾーン神楽岡/京都)

2021 ・SHAKE ART!×さらさ麩屋町 学生作家支援展示企画

2018～2023

・京都市立芸術大学作品展(京都市立芸術大学・京都市京セラ美術館)

2023 ・個展「Stratum of Life」(アートギャラリー北野/京都)

2025 ・芝田町画廊企画「シン・ハンガノミリョク展」

●実績

2021 ・生活の友社「美術の窓」No.452(2021年5月号)「新人大図鑑2021」に掲載

・神山財団芸術支援プログラム第8期生合格

2022 ・「第13回大野城まどかぴあ版画ビエンナーレ」(大野城まどかぴあ/福岡)＜入選＞

・「第47回全国大学版画展」(上田市立美術館/長野)＜優秀賞＞

・京都銀行美術研究支援制度推薦

2023 ・京都市立芸術大学作品展2022 専攻買上

2024 ・第9回山本鼎版画大賞展 ＜入選＞